

動脈硬化検査のご案内

ご予約ください

動脈硬化はさまざまな検査を通して総合的に診断されるものです。

この検査は、そのうちのひとつとして血管の硬さつまり具合を数字に表し、ひとつの目安とするものです

- 検査は、ベット上であおむけに寝て、安静に行います
- 検査時間は、10分程度です
- 両手両足の血圧を、同時に測定します
- 痛みはほとんどありません

受診時の注意事項

- 食事の影響はありません
- トイレは済ませておきましょう
- 靴下は脱いで頂きます
- 測定前に動悸が激しい場合には、落ち着くまでお待ちいただくことがあります
- 頻繁な不整脈がある方や、手や足に浮腫がある方の場合には、医師の判断により検査できない場合がありますので、ご了承ください
- その他、ご心配な点については、診察時に医師にご相談下さい

検査で何がわかるのでしょうか？

血管の硬さと血管の詰まり具合がわかります

結果はグラフで表され、年齢ごとの平均値に照らし合わせておよその血管年齢を読み取ることができます

血管の硬さ

PWV

大きく分けて「PWV」と「ABI」とで表されます



血液が心臓から足首までの到達する速さで、血管が硬いほど血液は早く流れます

⇒ 血管が硬いほど値がたかくなります



血管の詰まり具合

ABI

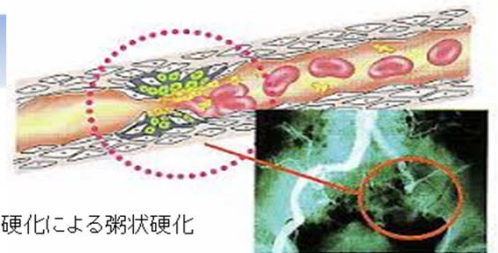


「上腕と足首の血圧の比」で、血管の狭くなっている程度がわかります。足の動脈がつまると血流がわるくなり、足首の血圧が上腕の血圧より低くなります

⇒ 足の動脈がつまると、ABIの値が低くなります

検査で何がわかるのでしょうか？

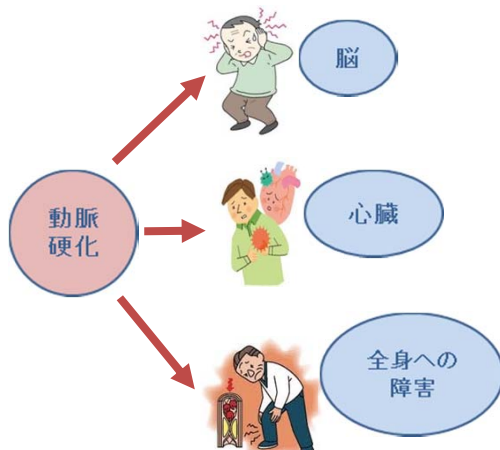
加齢や生活習慣によって血管が硬くなってくると、血液や脂肪のかたまりが血管の内壁に着いて血管が狭くなって血流が悪くなったり、血流が途絶えてしまいます。動脈硬化は脳、心臓など体の重要な臓器をはじめ全身にさまざまな病気を引き起こします



動脈硬化による粥状硬化

血管造影

動脈硬化をほおっておくと



脳出血(くも膜下出血)
脳の血管が破れてしまう病気

脳梗塞
脳の血管が詰まってしまう病気

狭心症
心臓を取り巻く冠動脈が狭くなって起きる病気

心筋梗塞
心臓を取り巻く冠動脈の血流が止まる病気

閉塞性動脈硬化症
足の筋肉への血流が減り、歩くと痛むなどの症状がある病気
ひどくなると足先が腐ってしまうこともある